



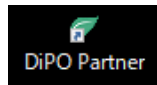
HALL  
**DiPO**  
ディポ

# 簡単な操作説明書

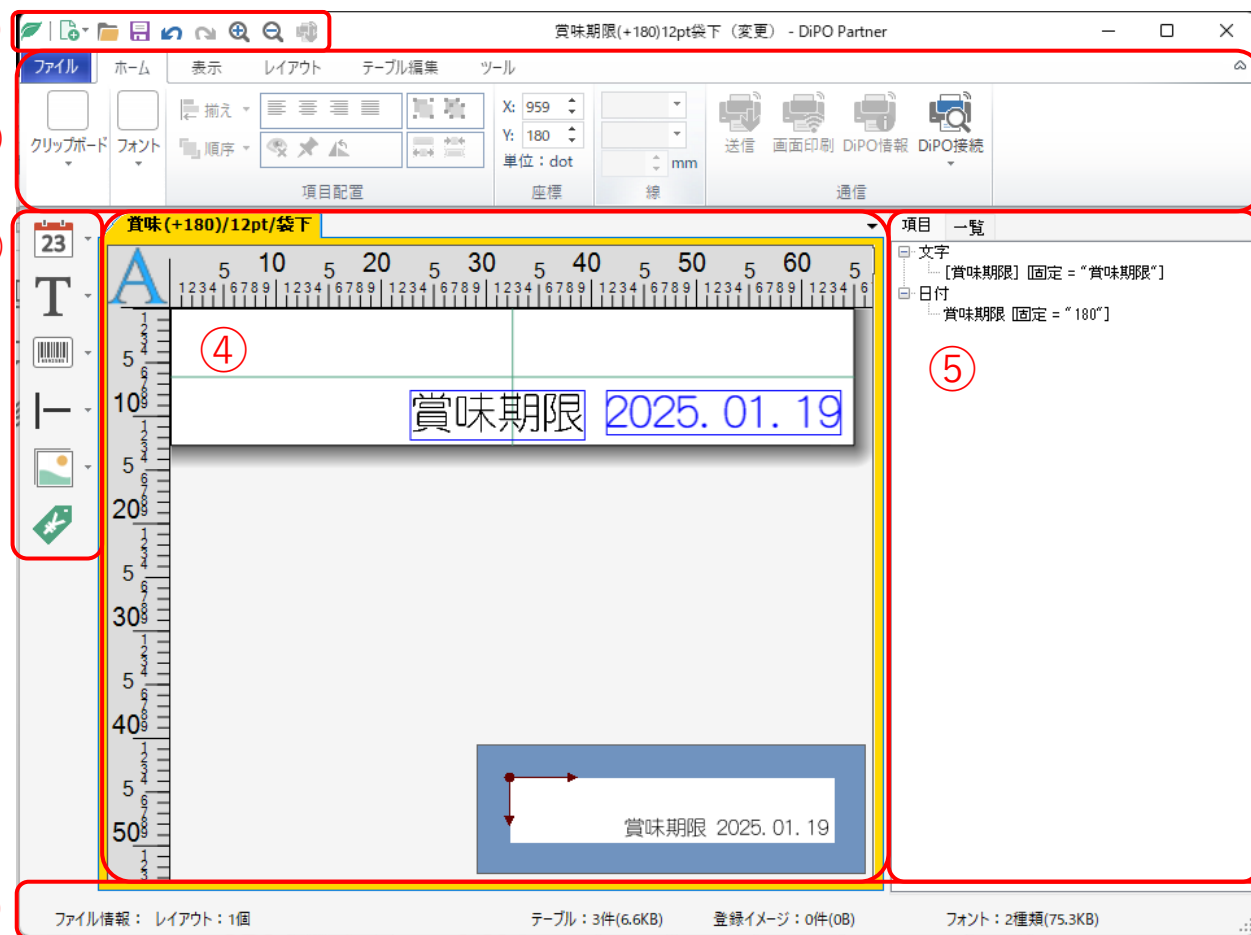
DiPOPartner操作編/本体編

本書に掲載されていない内容につきましては、[DiPOPartner取扱説明書]、[本体取扱説明書]、[操作編 取扱説明書]をご覧くださいませようお願いいたします。

デスクトップ上に作成されたDiPOPartnerアイコンから起動します



## DiPOPartnerホーム画面



①クイックアクセスツールバー  
よく使うコマンドが表示されます

②メインツールバー  
グループ化された各種コマンドが表示されます

③ツールボックス  
各項目をレイアウトします

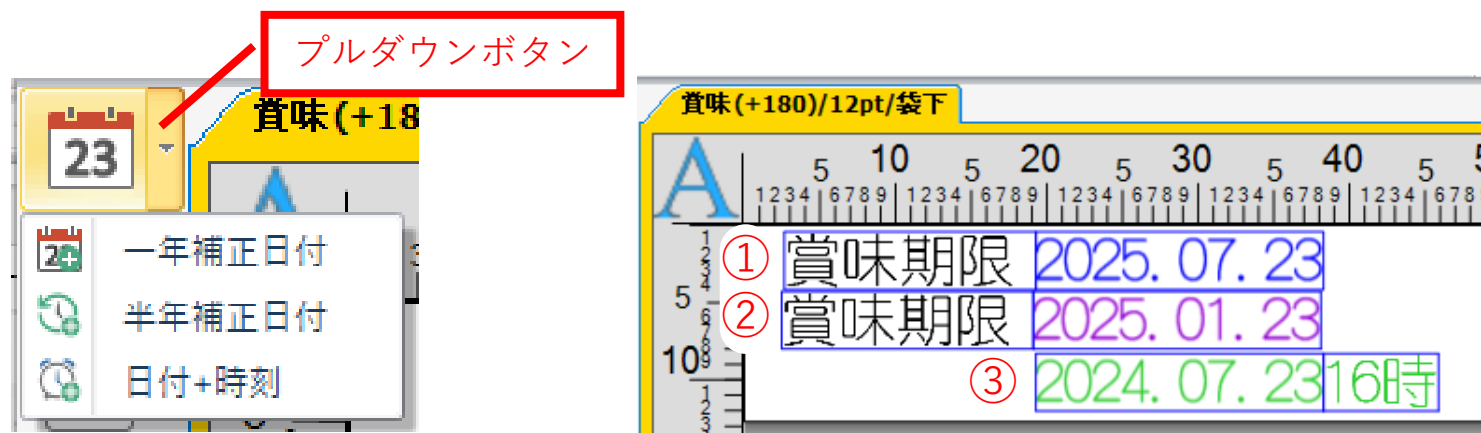
④レイアウトエリア  
各項目をレイアウトするエリアです  
また、タブを追加することによりレイアウトを追加することができます  
(最大100レイアウトまで作成できます)

⑤項目一覧  
エリアレイアウトした項目が一覧表示されます

⑥ステータスバー  
現在編集しているファイルや表示中のレイアウトに関する情報が表示されます。

レイアウトエリアに日付項目をレイアウトします

日付項目のプルダウンボタンをクリックするとプルダウンメニューが表示され各日付項目をレイアウトします。



#### ①一年補正日付

あらかじめ一年（12ヶ月）の補正を行うように設定された日付項目をレイアウトします。

プルダウンボタンをクリックするとプルダウンメニューが表示され「一年補正日付」をクリックし、レイアウトエリア内でクリックするとレイアウトすることができます。

#### ②半年補正日付

あらかじめ半年（6ヶ月）の補正を行うように設定された日付項目をレイアウトします。

プルダウンボタンをクリックするとプルダウンメニューが表示され「半年補正日付」をクリックし、レイアウトエリア内でクリックするとレイアウトすることができます。

#### ③日付+時刻

通常の日付項目に加えて時刻の項目をレイアウトします。

プルダウンボタンをクリックするとプルダウンメニューが表示され「日付+時刻」をクリックし、レイアウトエリア内でクリックするとレイアウトすることができます。

## 一時変更設定

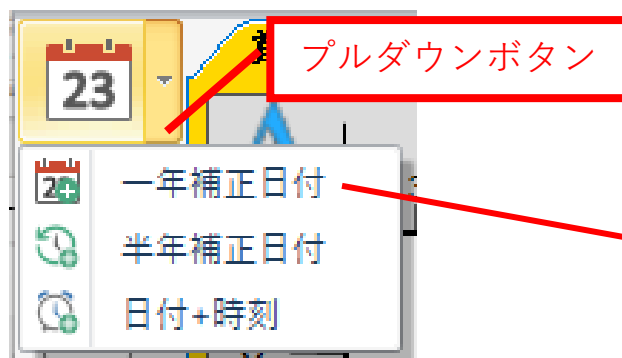
DiPOのタッチパネル上で印刷前にデータの変更をすることができます。

日付項目プロパティで手動一時変更に✓を入れると、DiPO側で日付の補正日を変更することができます。

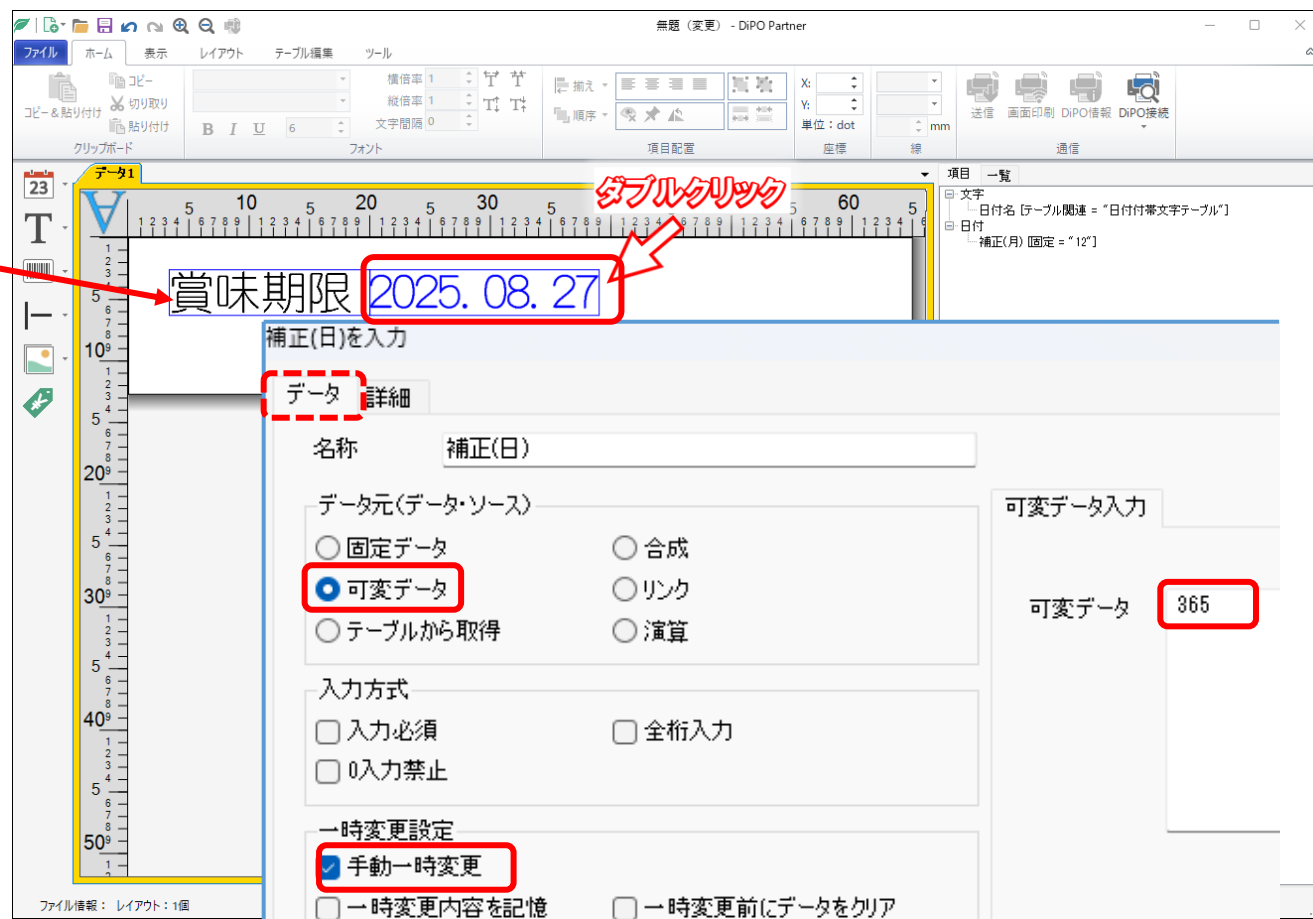
（日付項目に背景色が表示されます。）

※背景色は、メインツールバーの表示⇒一時変更有効項目の背景色で設定ができます。

①日付項目の一年補正日付をレイアウトします。



レイアウトした賞味期限の日付をダブルクリックし、日付項目のプロパティを開きます。  
データタブで可変データに✓を入れます。  
手動一時変更に✓を入れます。  
今回は可変データ枠に[365]と入力します。



②詳細タブの補正単位を「日」に設定すると、可変データ枠に入力した「365」が補正日となります。

[OK] ボタンをクリックします。

補正(月)を入力

データ 詳細

形式  
日付種類: yyyy.mm.dd 区切り文字: .  
週の表現形式: なし 括弧付き

暦種類  
暦種類: 西暦 年号印刷

補正  
補正単位: 日 1日の補正は当日にする  
日付直接入力: 年 月 日 形式: yyyy.mm.dd  
☒ 補正 ☐ データなし時に印刷しない  
☐ 全角数字使用

印刷設定  
回転角度: 0  
☒ 印刷

フォント設定  
フォント種類: 外部フォント  
フォント名: D F 新細丸ゴシック体  
サイズ: 11  
横倍率: 1  
縦倍率: 1  
文字間隔: 0  
☐ 太字 ☐ 斜体  
☐ 白抜き ☐ 反転  
☐ 下線

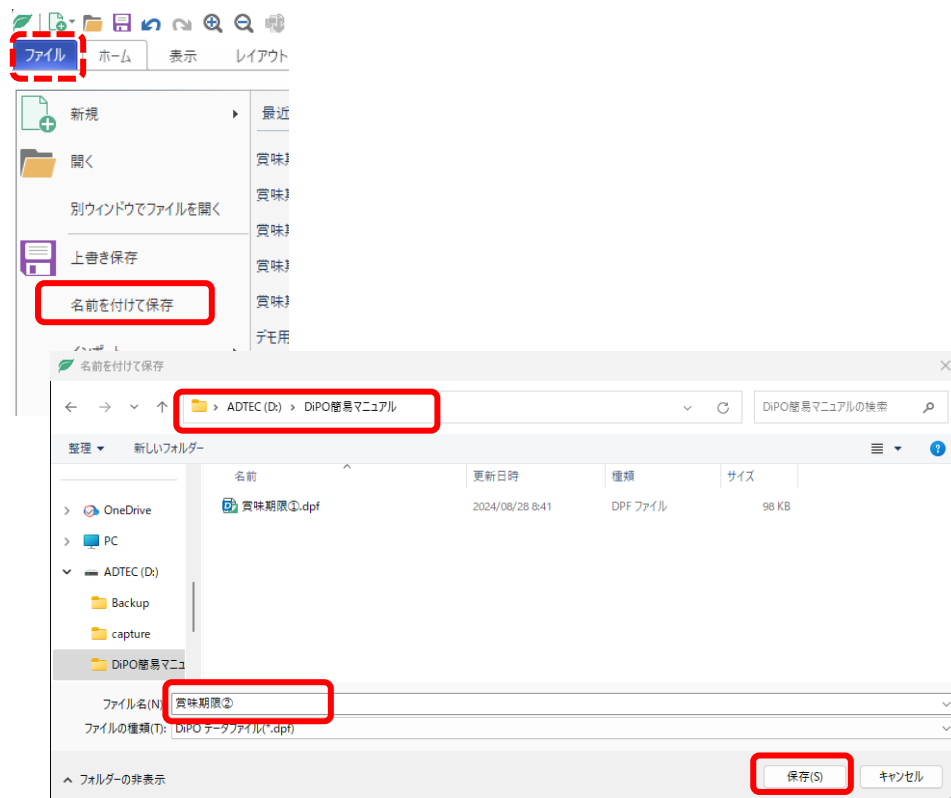
OK キャンセル

③この印刷データをDiPOPartnerからDiPOに取り込みます。

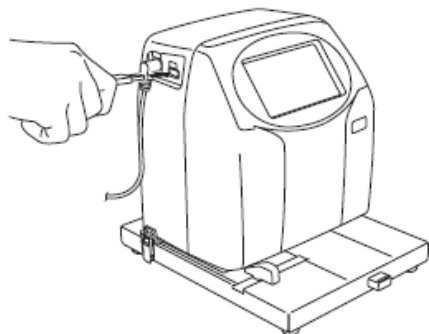
印刷データをUSBメモリに保存します。

メインツールバーの[ファイル]をクリックし、[名前を付けて保存]をクリックします。

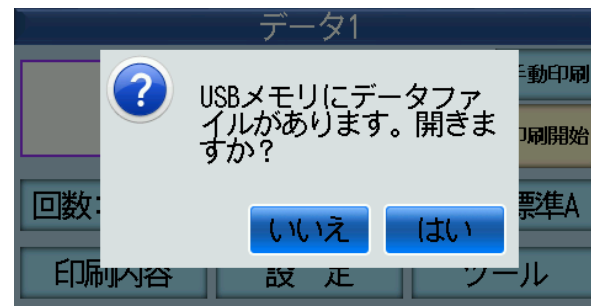
保存する場所(USBメモリ)を選択しファイル名を入力して[保存]をクリックします。



④USBメモリから印刷データを読み込みます。  
印刷データが保存されたUSBメモリを本体に挿入してください。

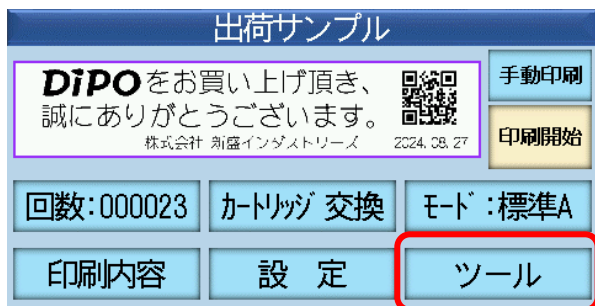


下記画面が出てきたら[はい]をタッチして  
⑧に進みます。

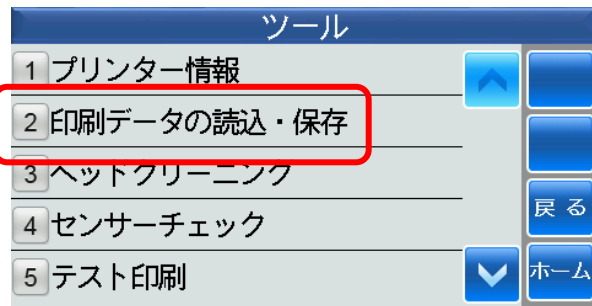


以下、DiPO本体側のタッチパネルについて説明をします。

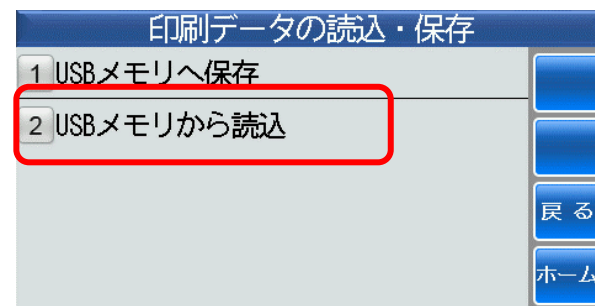
⑤ツールをタッチします。



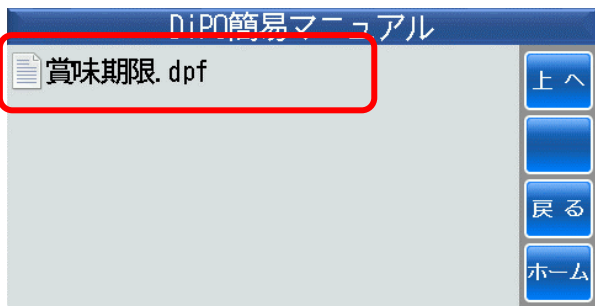
⑥印刷データの読込・保存をタッチします。



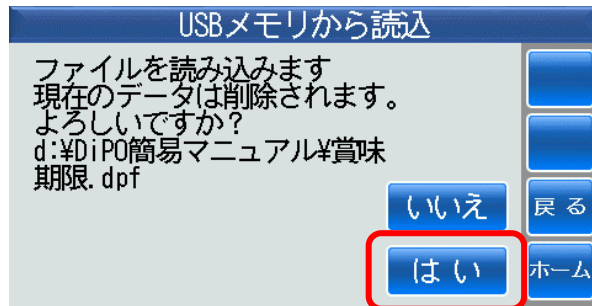
⑦USBメモリから読込をタッチします。



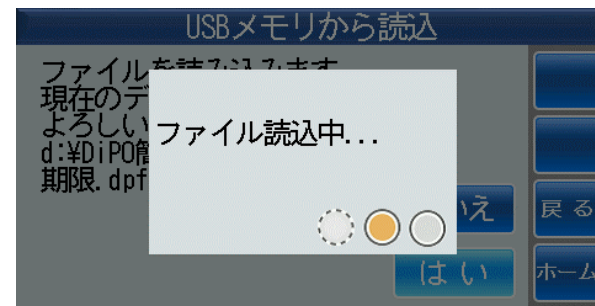
⑧読み込むファイルをタッチします。



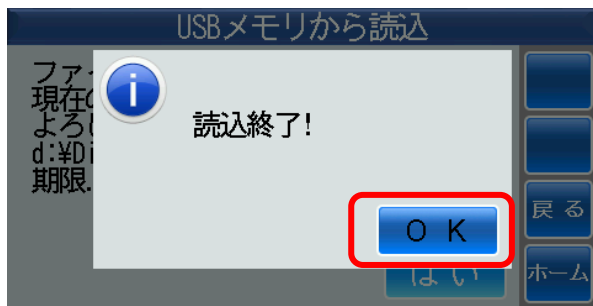
⑨読み込む場合は「はい」をタッチします。



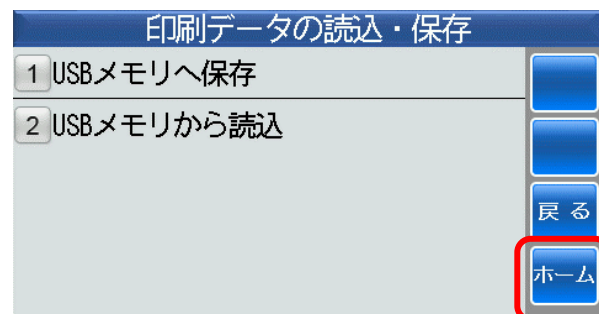
⑩読み込み中です。



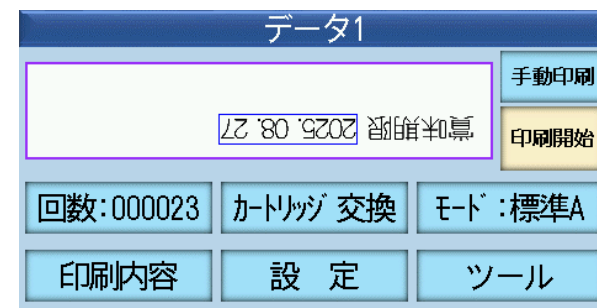
⑪読み込みが完了しました。  
OKをタッチします。



⑫ホームをタッチします。



⑬青枠で表示された項目がDiPO本体で変更できます。青枠をタッチします。



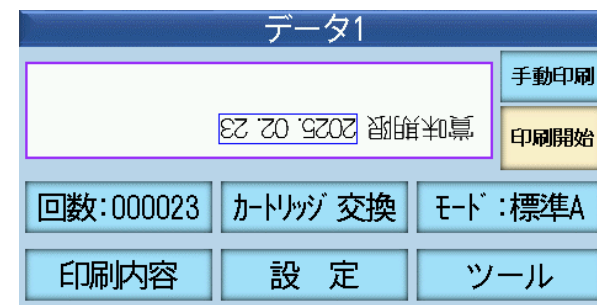
⑭この補正(日)画面で補正日の変更ができます。  
DiPOPartnerのデータタブの可変データ枠に入力された[365]が表示されています。  
数字をタッチして変更したい補正日を入力します。



⑮ここでは補正(日)を[180]と入力して  
決定をタッチします。



⑯補正（日）が変更されました。

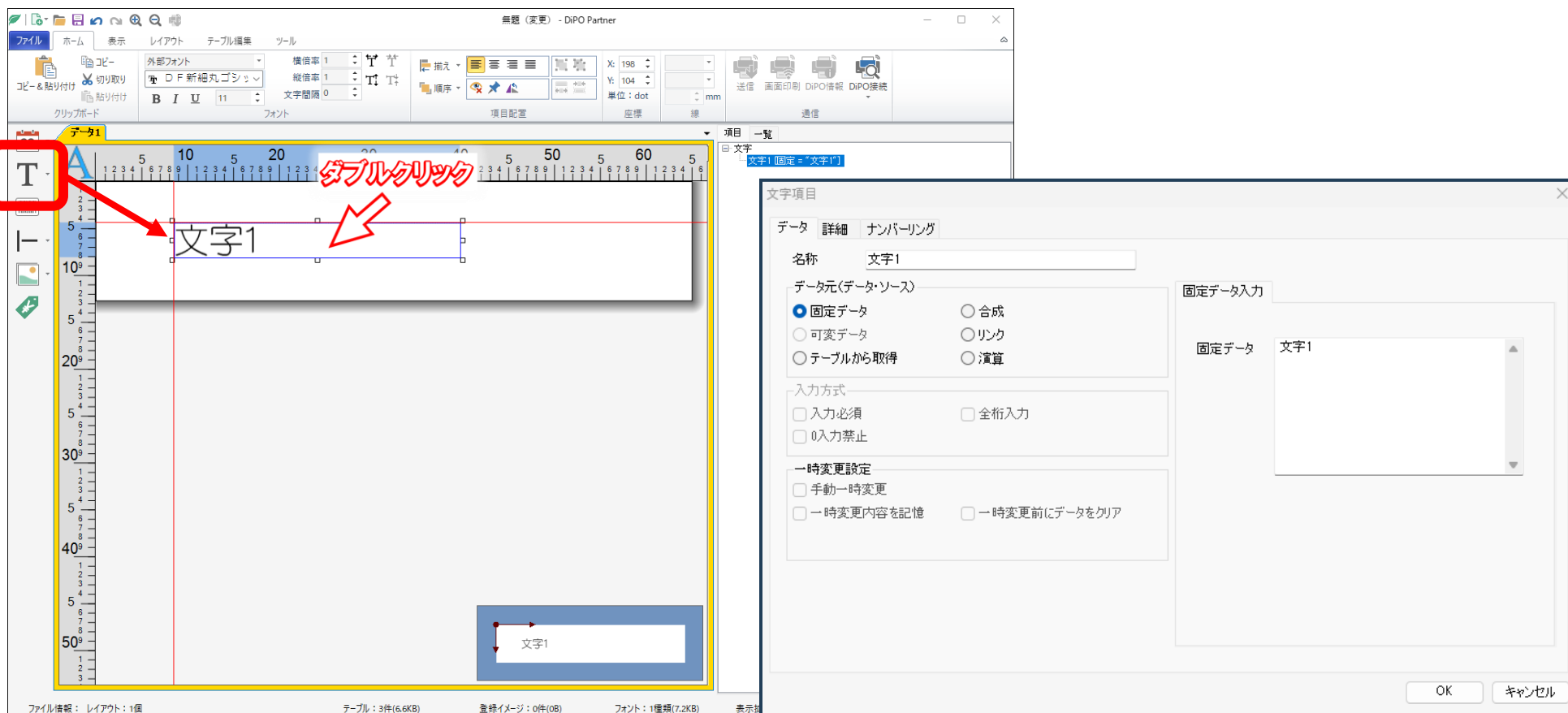


レイアウトエリアに文字項目をレイアウトします

文字項目アイコンをクリック後、レイアウトエリアでクリックすると文字項目をレイアウトします。

また、アイコン横のプルダウンボタンをクリックするとプルダウンメニューが表示され文字項目を選択してレイアウトすることができます。

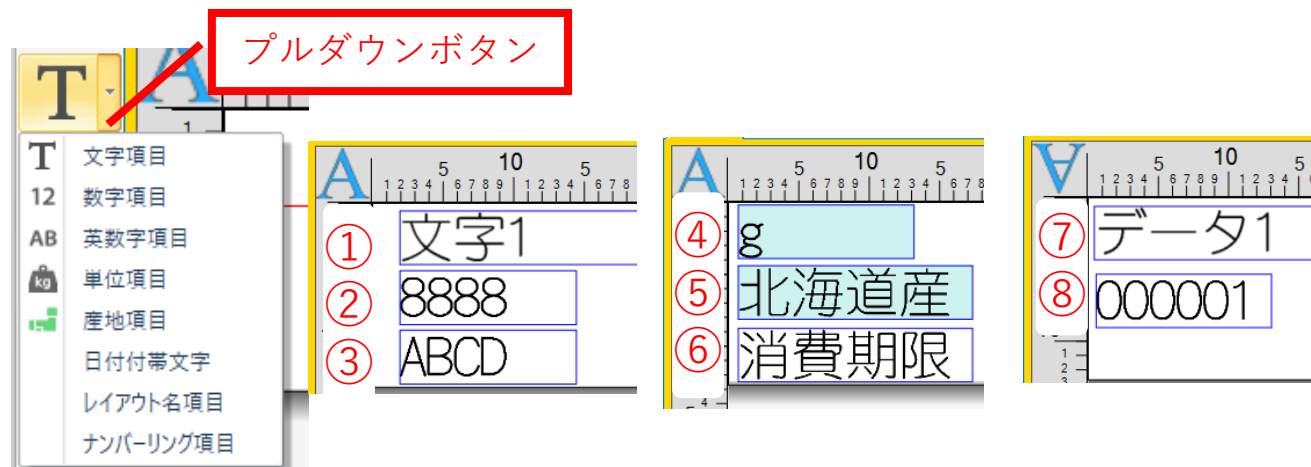
レイアウトされた文字項目をダブルクリックすると、文字項目のプロパティが開き設定を変更する事ができます。





文字項目アイコン横のプルダウンボタンをクリックするとプルダウンメニューが表示され、入力したい項目を選択してレイアウトエリア内で再度クリックするとレイアウトすることができます。

レイアウトされた項目をダブルクリックするとプロパティが表示され設定を変更することができます。



#### ①文字項目

漢字、数字、アルファベット、記号など自由に文字を入力できる文字項目をレイアウトします。

#### ②数字項目

数字のみ入力できる様に制限をかけた 文字項目をレイアウトします。

#### ③英数字項目

英数字が入力できる文字項目をレイアウトします。

#### ④単位項目

プリセットされている単位をリストから選択するだけで設定できる項目をレイアウトします。

#### ⑤産地項目

プリセットされている産地をリストから選択するだけで設定できる項目をレイアウトします。

#### ⑥日付付帯文字

プリセットされている日付付帯文字 をリストから選択するだけで設定できる項目をレイアウトします。

#### ⑦レイアウト名項目

レイアウト名が自動で入力される文字項目レイアウトします。

#### ⑧ナンバーリング項目

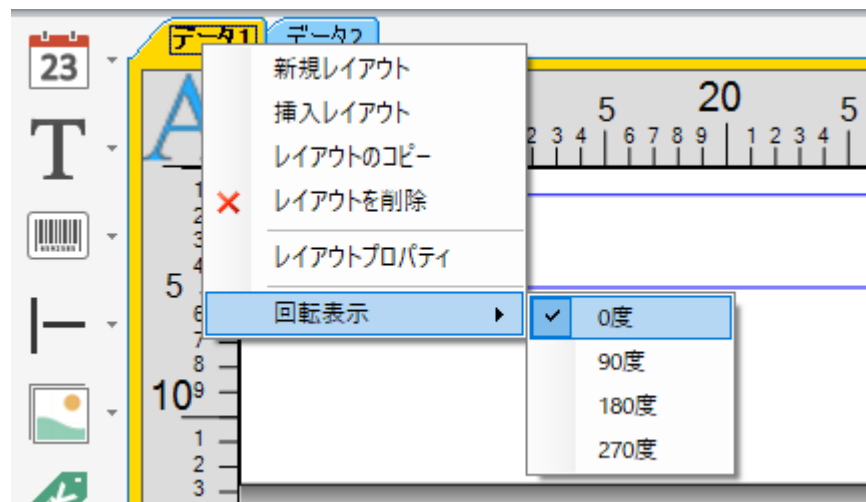
ナンバーリング機能を有効にした数字項目をレイアウトします。

※各項目の詳細についてはDiPO Partner 取扱説明書をご参照ください。

## 回転表示

レイアウトエリアが0度、90度、180度、270度で選択された角度で回転します。

回転表示は、下図のA文字をダブルクリックすることでもレイアウトを回転させることができます。

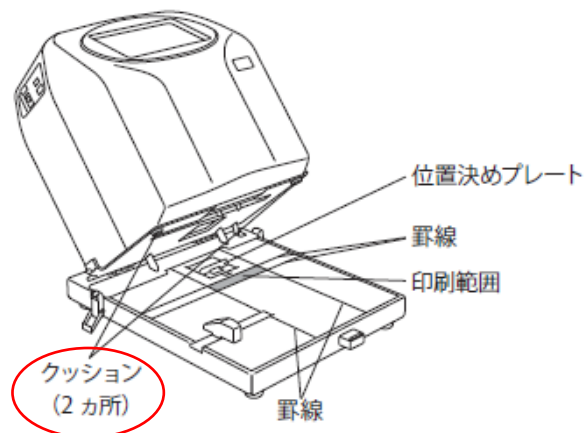


レイアウトに項目がある場合：ダブルクリックするごとに180度ずつ回転します。

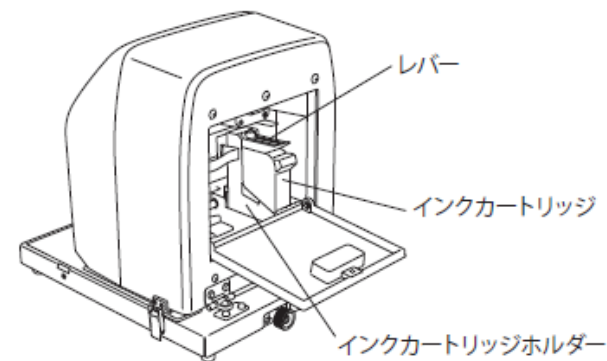
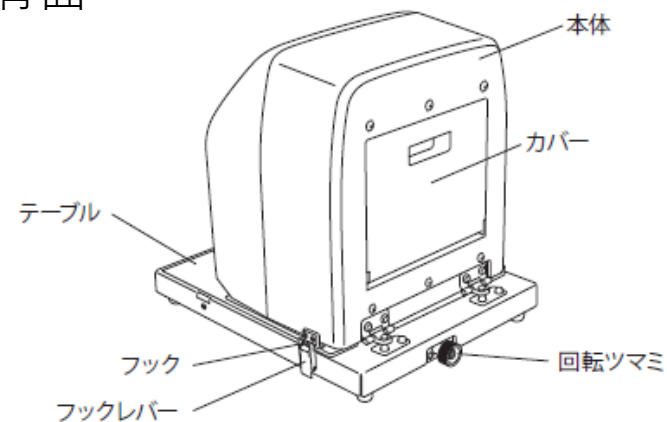
レイアウトに項目がない場合：前記の回転表示と同様にダブルクリックするごとに90度ずつ回転します。



## 前面



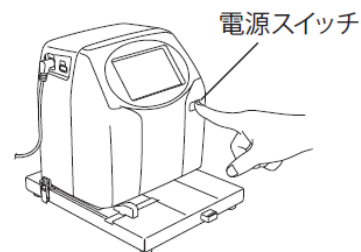
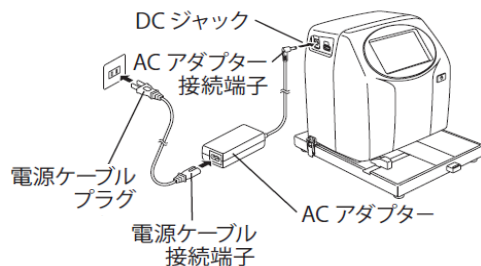
## 背面



※本体下面の左右2ヶ所に両面テープでクッションが装着されていますが、印刷対象物を差込む時に干渉する場合は、このクッションを外してください。取り外しても動作に影響を及ぼすことはありません。  
なお、干渉しない場合は、本体を閉じる時の緩衝材として作用するので、取り付けられた状態にしておくことを推奨します。

## ACアダプター接続

- ①電源ケーブル接続端子をACアダプターに接続してください。
- ②ACアダプターの接続端子を手で持ってDiPOのDCジャックに奥までしっかり差込んでください。
- ③電源ケーブルのプラグをコンセントに差し込んでください。
- ④電源スイッチを約2秒長押しして電源がオンになると、インクカートリッジが交換位置まで移動します。



- ⑤[カートリッジを装着して下さい]と表示されます。



### インクカートリッジ装着前の準備

カートリッジ装着前にインクカートリッジをクリップを付けた状態で10回程度上下に振り、その後付属のクリーニングペーパーでヘッドを拭き、インクが出ていることを確認してください。  
(※印刷の品質に応じて、適宜カートリッジを10回程度上下に振ってください。)

#### 白インクの取り扱い方法について

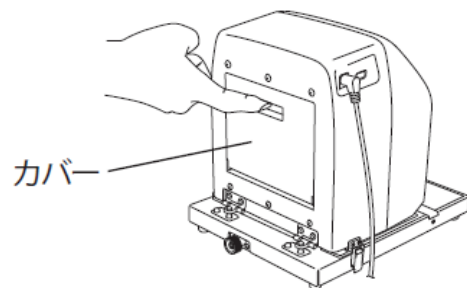
※白インク(速乾インク：DI314P・UVインク：DI131)は分離・沈殿しやすい性質の為、使用前及び使用中に適宜(目安として1時間に1回)外して10回程度上下振ってください。

また、目安として1時間以上印刷をしない場合やご使用後はDiPO本体からカートリッジを取り外してください。

取り外し後、ヘッドを付属のクリーニングペーパーで拭き、クリップを装着してヘッドを上向きにして保管してください。

## インクカートリッジの装着

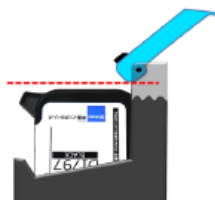
⑥本体を押さえながらカバーを手前に開けてください。



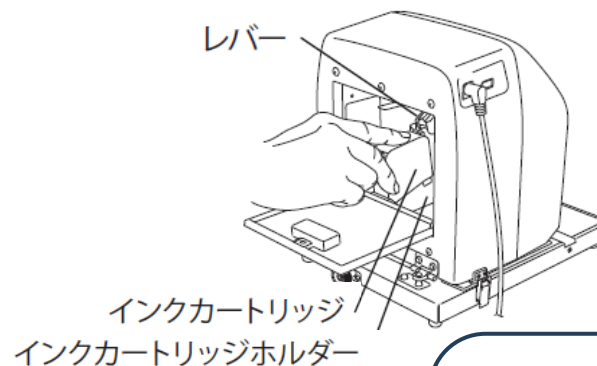
インクカートリッジを横にしたり斜めにした状態で装着したり取り外したりすると、ヘッドに傷がつき正常に印刷されなくなる場合がありますのでご注意ください。



ヘッドが差込み不足の状態では、レバーの破損につながりますので、ご注意ください。



⑦本体を押さえながらレバーを奥の方まで倒して、ヘッドを下にしてインクカートリッジを下図のようにできるだけ立てた状態でゆっくりインクカートリッジホルダーの奥まで差し込んでください。



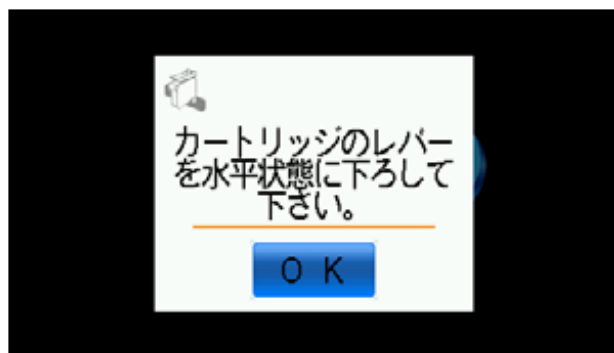
あわせて動画（DiPOシリーズカートリッジセット方法）もご参照お願いいたします。

<https://cartridgeset.dipo.jp/>

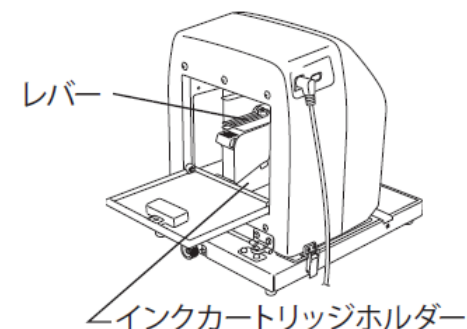
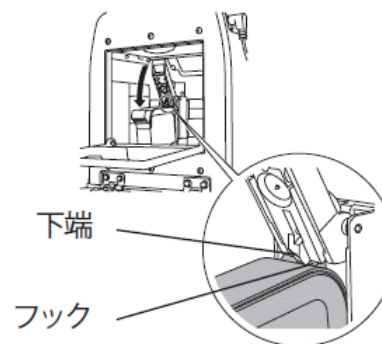


QRコード

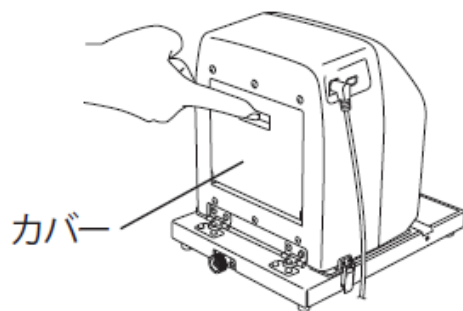
⑧インクカートリッジが正常に装着されると[カートリッジのレバーを水平状態に下ろして下さい。]と表示されます。



⑨インクカートリッジの先端のフックとレバーの下端が引っ掛かるようにして、レバーを水平状態に下ろしてください。

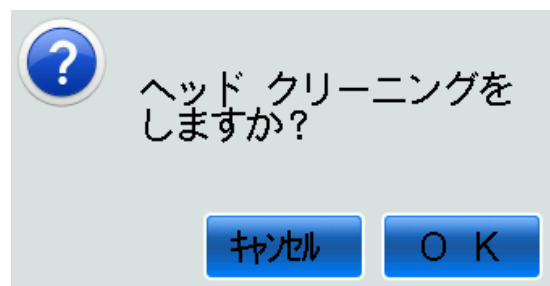


⑩レバーが水平状態下ろされていることを確認してからカバーを閉じて[OK]をタッチしてください。  
インクカートリッジが印刷開始位置に戻ります。



※インクカートリッジホルダーを移動させる場合は、必ずカバーを閉じてから操作を行ってください。

- ⑪[ヘッドクリーニングをしますか?]&表示されるので、クリーニングをする場合は[OK]をタッチしてください。  
クリーニングをしない場合は[キャンセル]をタッチしてください。



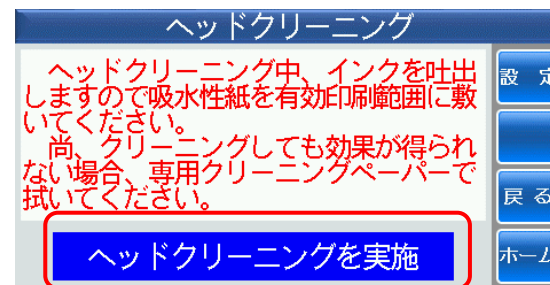
- ⑬動作回数を入力し[決定]をタッチしてください。  
1回の動作回数で縦線1本を印刷します。最低で10回から設定できます。設定すると1mm間隔で縦線を連続で10本印刷します。



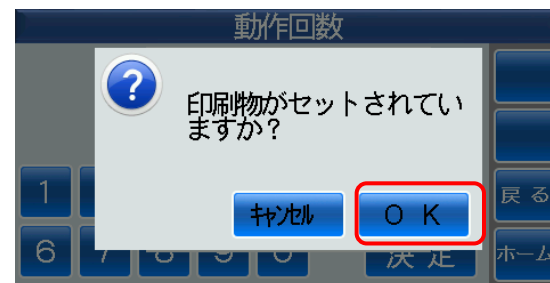
- ⑮クリーニングが終了したらクリーニングペーパーでヘッドをよく拭いてください。  
拭き終わったら、[OK]をタッチしてください。



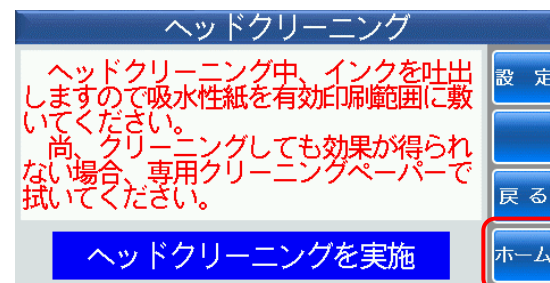
- ⑫クリーニング中はインクを吐出しますので、吸水性紙を有効印刷範囲に敷いてから、[ヘッドクリーニングを実施]をタッチしてください。



- ⑭[OK]をタッチしてください。



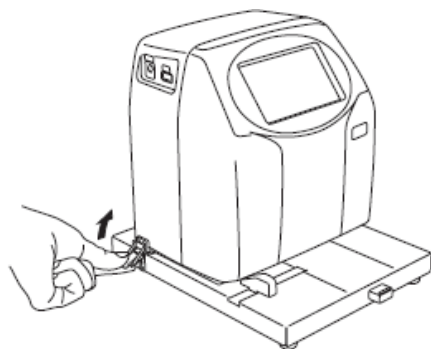
- ⑬[ホーム]をタッチしてください。



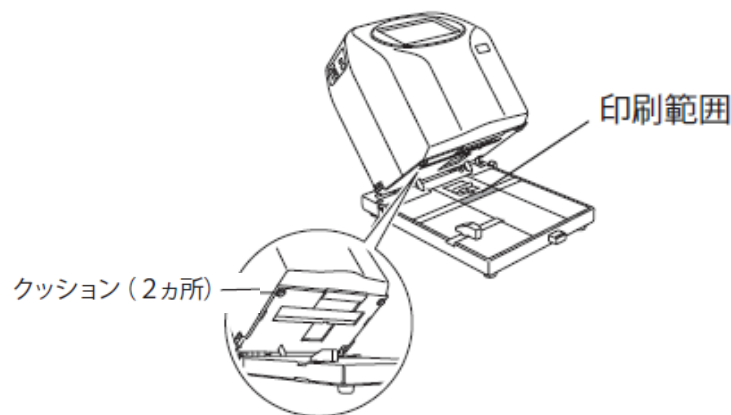
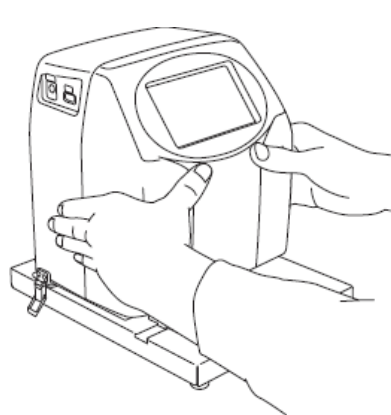


## 印刷前の準備

- ①インクカートリッジを装着します。(本説明書14ページ参照)
- ②印刷対象物を印刷範囲に合わせて位置決めします。
- ③両側のフックレバーを持ち上げてフックから外してください。



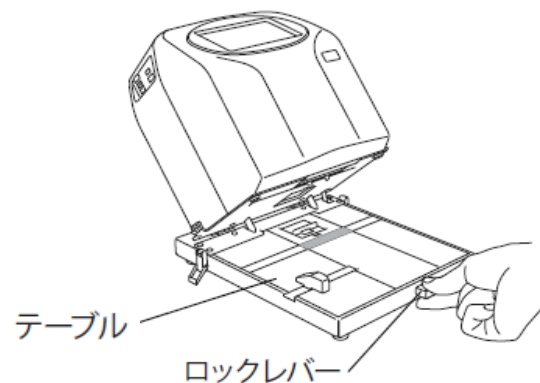
- ④両手で本体をゆっくり持ち上げて全開位置まで回転させてください。  
※全開位置までしっかり保持されていることを確認してから両手を離してください。



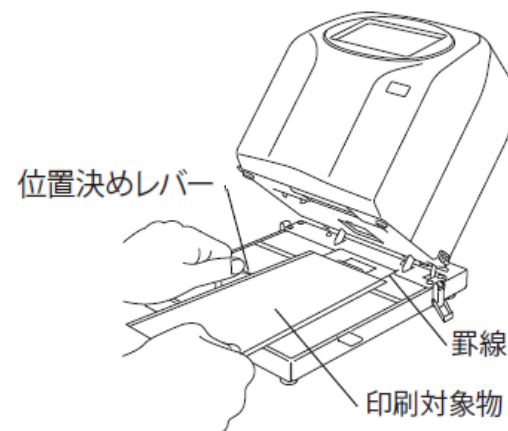
※本体下面の左右2ヶ所に両面テープでクッションが装着されていますが、印刷対象物を差込む時に干渉する場合は、このクッションを外してください。取り外しても動作に影響を及ぼすことはありません。  
なお、干渉しない場合は、本体を閉じる時の緩衝材として作用するので、取り付けられた状態にしておくことを推奨します。



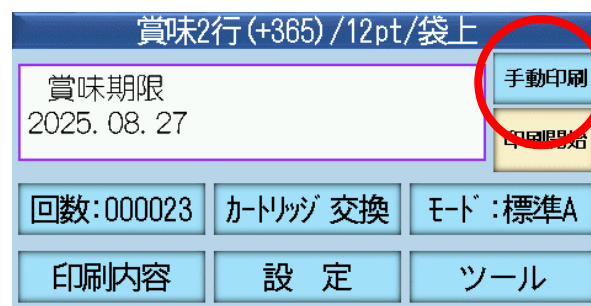
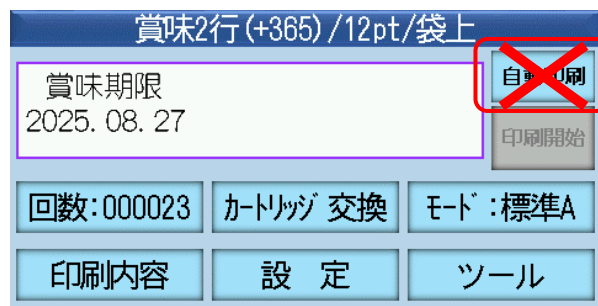
⑤テーブルを押さえながらロックレバーを手前に引いてロックを解除してください。



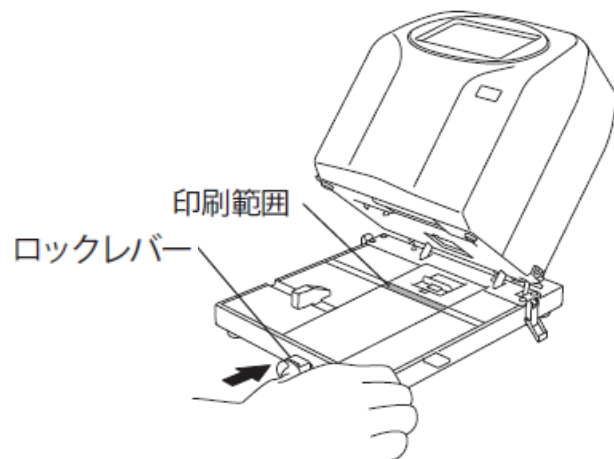
⑥印刷対象物を挿入し、印刷範囲を示す罫線を目印に幅方向の位置決めレバーを移動させて印刷対象物の幅方向の位置決めを行ってください。



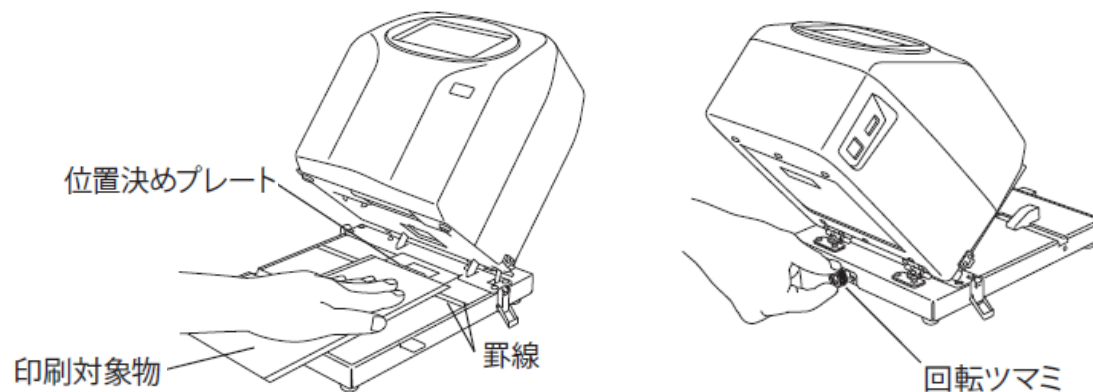
※印刷対象物をセットする場合は、電源をオフにするかホーム画面で[手動印刷]モードになっているときに行ってください。ホーム画面で[自動印刷]モードになっているとインクが吐出する場合があります



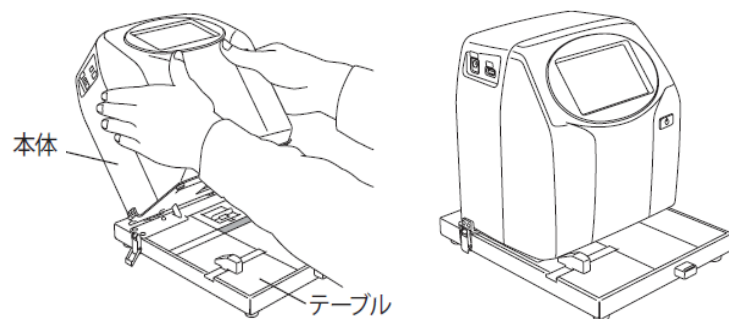
⑦ロックレバーを押し込んでロックしてください。



⑧印刷対象物を挿入して、印刷範囲を示す野線を目印に長手方向の回転ツマミを回して位置決めプレートを移動させて、印刷対象物の長手方向の位置決めを行ってください。



⑨全開位置で両手を本体に添えてゆっくりテーブルに戻してください。

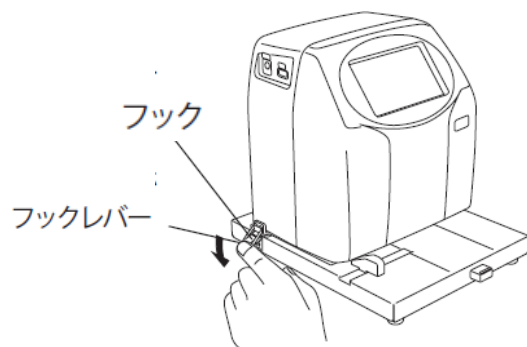


※途中から自重で本体が下がりますので、テーブルに戻すまで両手を離さないようにしてください。

※位置決め作業中に全開位置の本体に触れると、自重でテーブルに勢いよく戻ってしまいますので、全開位置の本体に触れないでください。

⑩両側のフックレバーをフックに引っ掛けてロックしてください。

これで幅方向と長手方向の位置決めが完了しました。



⑪ご使用前に必ずテスト印刷を行って、インクが正常に吐出されることを確認してください。

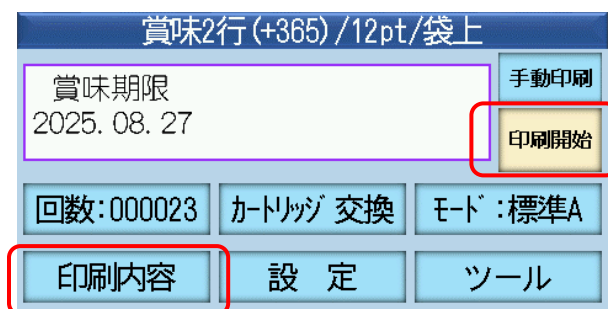
テスト印刷は、ホーム画面→[ツール]→[5 テスト印刷]をタッチして行ってください。

正常にインクが吐出されない場合は、インクカートリッジを取り出して、クリーニングペーパーでヘッドを拭き取ってください。

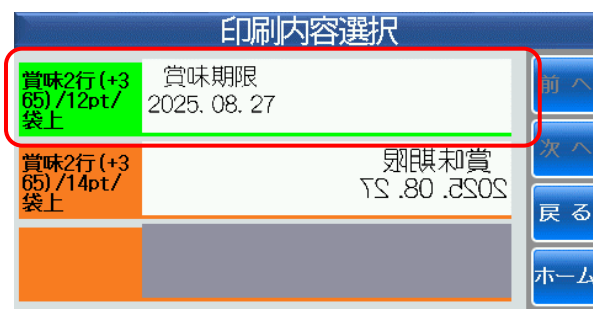
①USBメモリから印刷データを読み込みます。(本説明書6ページ参照)

## 印刷(手動モード)

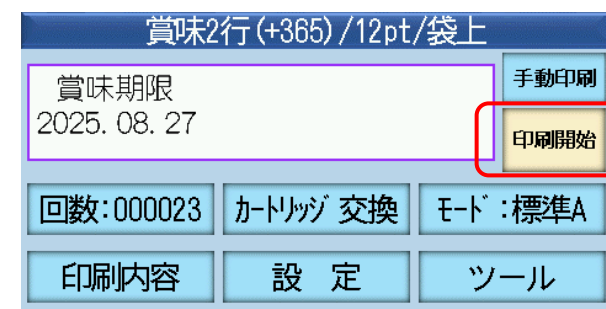
②ホーム画面で[印字内容]をタッチしてください。  
※初期値は[手動印刷]モードに設定されています。



②印刷内容選択画面から印刷したい[印刷データ]をタッチしてください。

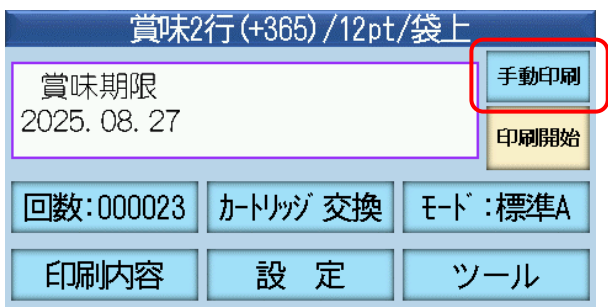


③印刷対象物を位置決めして、[印字開始]をタッチします。

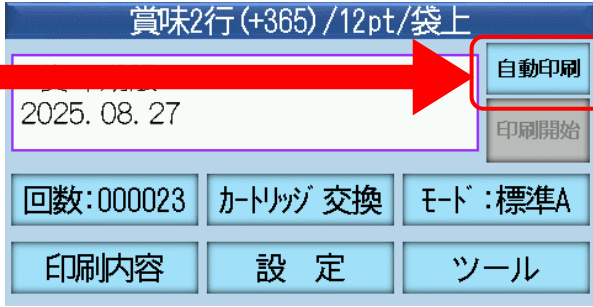


## 印刷(自動モード)

①[手動印刷]をタッチします。



②[自動印刷]に切り替わります。



③印刷対象物を位置決めすると自動的に印刷します。

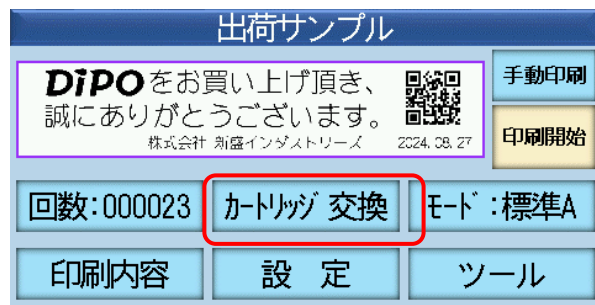
印刷された印刷対象物を取り出して、次の印刷対象物を挿入して位置決めされると自動的に印刷されます。

位置決めを検出してから印刷開始するまでの時間設定は操作編取扱説明書をご参照ください。

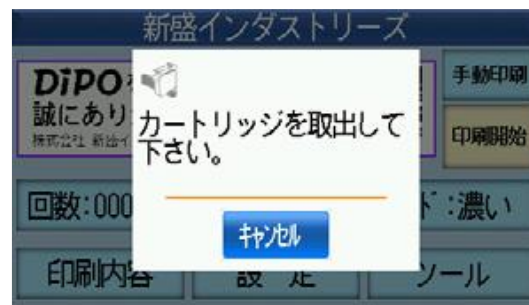
※印刷対象物を挿入する時は本体を開放しないでください。  
※自動印刷モードの時に本体を全開させて印刷対象物の位置決めを行わないでください。  
指や手が印刷対象物センサーで検出されてインクが吐出される場合があります。  
必ず、手動印刷モードまたは電源をオフにしてから行ってください。

# DiPO本体編 インクカートリッジ取り出し

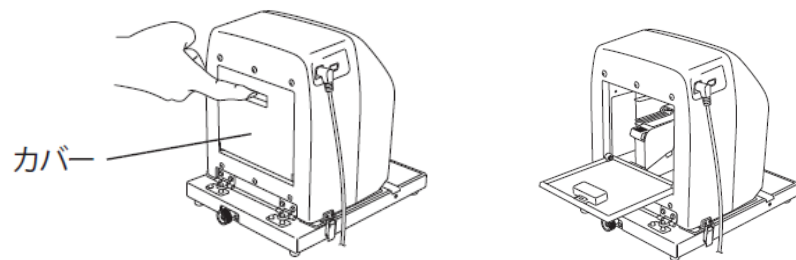
①ホーム画面から[カートリッジ交換]をタッチしてください。  
インクカートリッジが交換位置まで移動します。



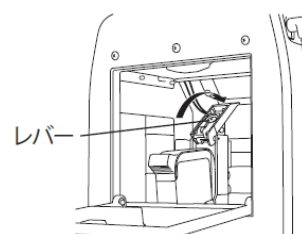
②[カートリッジを取り出して下さい。]と表示されます。



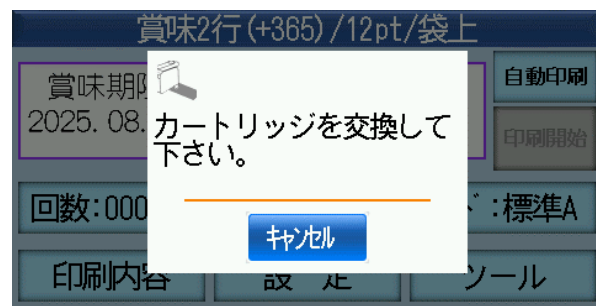
③本体を押さえながらカバーを手前に開けてください。



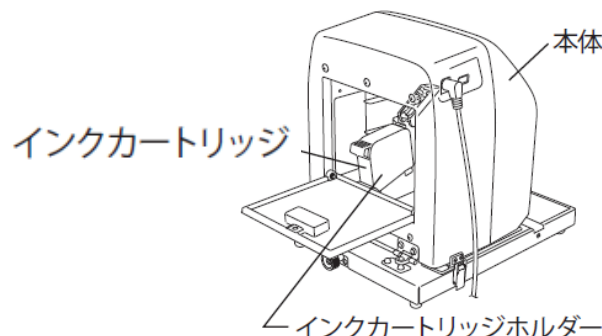
④本体を押さえながらレバーを奥の方までしっかり倒してください。



⑤[インクカートリッジを交換して下さい。]と表示されます。

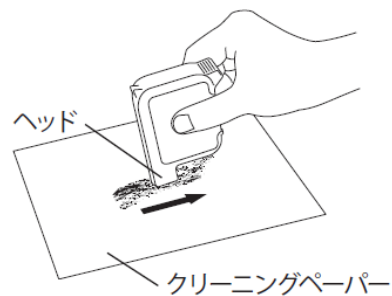


⑥本体を押さえながらインクカートリッジをできるだけ立てた状態でゆっくり持ち上げて取り出してください。

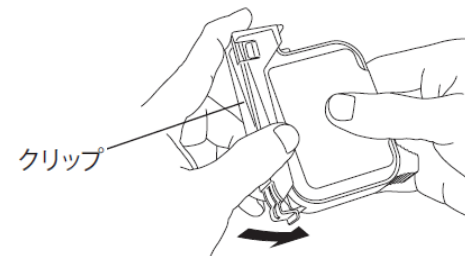


# インクカートリッジの保管方法

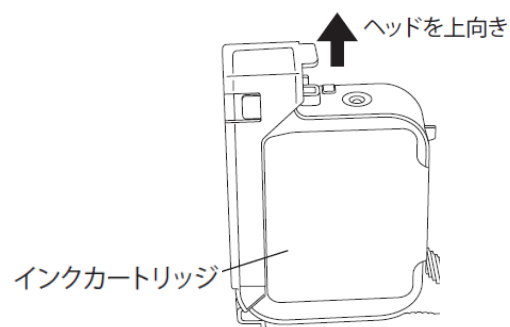
①折り畳んだクリーニングペーパーを平坦なところに置き、インクカートリッジのヘッドを一方向にこする様に拭き取ってください。



②ヘッドにクリップを装着してください。



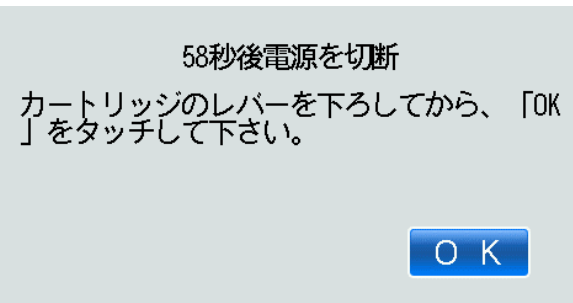
③ヘッドを上向きにして常温・常湿で保管してください。



①電源スイッチを約2秒長押ししてください。



②カートリッジのレバーが水平状態に降りていることを確認してから[OK]OKをタッチします。  
電源がオフになります。



⑤電源ケーブルのプラグを手で持ってコンセントから抜いてください。

⑥ACアダプターの接続端子を手で持ってDiPOから抜いてください。

⑦電源ケーブルの接続端子を手で持ってACアダプターから抜いてください。

